



地域の“つながり”で子どもの貧困対策を

2017年8月17日(木) 9時30分～16時、稚内北星学園大学・稚内市教育委員会・稚内市教育連携会議の共催により「子どもの貧困連鎖STOP講習会」を開催しました。地域の“つながり”により子どもの貧困対策に取り組むため、その中心的な担い手となる「地域連携コーディネーター」の養成を意図した講習です。参加者は市内教職員や民生児童委員など教育・福祉関係者を中心に全64名で、本学からも学生7名、教員4名が参加しました。5講座すべてを受講した46名には稚内市教育委員会表純一教育長から「修了証」が授与されました。修了者の方々には「地域連携コーディネーター」として活躍することが期待されます。

《講座一覧》

第一講座 (40分)

講師 表純一 (稚内市教育長)

「ひとりぼっちにさせない北の街を」

第二講座 (50分)

講師 若原幸範 (稚内北星学園大学)

「子どもの貧困と大人の課題～稚内市における子どもの貧困対策の意味」

第三講座 (50分)

講師 清水冬樹 (旭川大学)

「『誰もが』ひとりぼっちにならない居場所づくり～旭川の事例から」

第四講座 (50分)

講師 山野良一 (名寄市立大学)

「日本の現状と対策を考える」

第五講座 (50分)

講師 平間信雄 (稚内市教育相談アドバイザー)

「『地区別コーディネーター』の出番です！」

